

■新システム稼働のお知らせ

評議員会でもご報告致しました通り、平成16年より運用しております『会員管理システム』が、全日本弓道連盟が進めている公益法人認可への流れに沿って見直すこととなり、1年間の検討・準備を経て平成22年4月1日より新たに『審査管理システム』と名称も変え稼働し運用を始めております。これに伴い会員の皆様にご持参いただいております会員ID番号を一部変更することとなりました。現在のID番号が全く変わるわけではありません。これまでのID番号は頭に発行を受けた地連のコード番号(奈良県は36、大阪は34など)が7桁の連番に組合わされて9桁で構成されていましたが、これまでの数年間で会員の地連間での移動が多数起り地連コードの意味合いが薄れてきたことなどから、現在の9桁から7桁に変更することとなりました。

例) 3 6 0 0 4 9 4 9 2
 ↑ ↑ ↑
(地連コード廃止) (1に変更) (現在のまま)

↓

新7桁
1 0 4 9 4 9 2

なお新システム稼働後の新規 ID 取得者については【1350001】から全国で申請順に割振りとなります。IDカードについてはこれまで通り新規登録者については作成致しますが、ID 変更に伴う現会員へのカードの再配布は致しません。

これから提出する申し込み等については新番号でお願いします。中央審査においては、7月初旬に実施の仙台定期ならびに東北地区錬士臨時中央審査(平成22年5月12日〆切)より新ID番号が適用されます。審査申込書の記載は、**右詰に7桁**で記入してください。ご協力をお願い致します。(事務局会員管理担当 綿松)



中央審査 結果 (5月京都)

六段 藤岡 順 さん
錬士 西田 ゆり さん

合格おめでとうございます。



No. 13

京都大会・定期中央審査も終わりました。うまくいった人、うまくいかなかった人、それぞれにまた新しい課題・目標が出来たことと思います。また先日の予選会で、国体、ねんりんピック、遠的選手権の候補選手も決まりました。

日々の練習に、目標・課題を持つことが大切だと思います。京都大会・中央審査を終えて、また、次に向かって努力する、これが弓の道かと思えました。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

■連絡システムに関するおねがい

(事務局より)

奈弓連としましては、各団体への連絡ができるだけ早く正確にできるように、メール連絡員・ホームページ連絡員に協力をいただいています。

行事予定の変更や追記、必要書類のダウンロードなど、ホームページを見ていただく必要がある場合、ホームページへの掲載と同時に、メール連絡員のかたにダウンロードのお願いを行いう予定です。その際には、メール連絡員の方からホームページ担当の方に連絡していただき、ダウンロードの上、各道場での掲示をお願い致します。

■全日本弓道遠的選手権大会協力をお願い

平城遷都1300年記念事業との共催として行われます表記大会に関しまして、現在準備を進めているところです。

例年の中央道場での開催の場合、中央の先生方、東京都連の方々を含めて、役員70名あまりと聞いております。平城京跡での仮設道場での開催となりますと、100名近くが必要と想定しています。

つきましては、多くの会員の皆様にご協力を願うことになるとお思いますので、その節にはどうか宜しくお願ひ致します。(事務局)

◆ 第7回 奈良県中学校弓道錬成大会

平成22年5月2日(日) 橿原公苑弓道場
奈良県弓道連盟主催

男子72名女子78名、計150名参加

▽男子団体戦

①香芝A(倉角・竹岡・村岡) ②橿原B(谷口・池永・坂本) ③八木A(福岡・小西・杉井)

▽女子団体戦

①香芝D(前田・上松・岡田) ②香芝E(中村・八幡・池辺) ③橿原C(中島・松田・西村)

▽男子個人

①倉角哲也(香芝) ②福岡良剛(八木) ③杉井邦彦(八木)

▽女子個人

①平松麻奈(橿原) ②前田ひかる(香芝) ③中島萌香(橿原)

◆平成22年度 奈良県高等学校弓道選手権大会

4月25日(日) 橿原公苑弓道場

参加者 男子106名 女子79名

▽男子総合

①大庭直樹(郡山) ②山本雅也(橿原) ③丸 和浩(橿原)

▽男子近的

①大庭直樹(郡山) ②山本雅也(橿原) ③山中 大輔(平城)

▽男子遠的

①大庭直樹(郡山) ②山本雅也(橿原) ③高間 光司(橿原)

▽女子総合

①加藤 美緒(橿原) ②中上 理香(五條) ③竹花 愛(高田商業)

▽女子近的

①仲野 由紀恵(桜井) ②加藤 美緒(橿原) ③峠谷 亜由(奈良大附属)

▽女子遠的

①中上理香(五條) ②岡島優衣(五條) ③加藤 美緒(橿原)

◆平成22年度 全国高等学校総合体育大会

第55回 全国高等学校弓道大会 県予選会

団体1次予選(5人立 各自8射 計40射)

5月4日(火) 橿原公苑弓道場

参加校 男子20校 女子16校

男子予選通過校:

郡山、王寺工業、平城、高田商業、橿原、畝傍

女子予選通過校:

五條、高田商業、平城、橿原、奈良北、法隆寺国際

奈良女子大からです

ゴールデンウィークも終わって、暖かい日が続くようになり、いよいよ弓の引きやすい気候になってきました。



私たち奈良女子大学弓道部では、新入生が入部する時期を迎えました。3回生は本格的に部活を引っ張っていく立場となり、また、2回生は新たに後輩を指導していく立場となりました。新入生はというと、4月に晴れて大学生となり、心機一転新たな事にチャレンジしようと弓道部に入部する人もいれば、高校からの経験を生かして弓道が続ける人もいます。

本大学の大きな特長として、近畿周辺だけでなく全国各地の出身の人とかかわることができます。高校から弓道が続けている人にとって、高校時代にはかかわりのなかった地域で弓道をやっていた人と交流がもてます。地域や指導していただく先生によって、流派が違うことも多々あります。流派とは言わないまでも細かい所作に違いがあったりして、新しい発見をすることもあり、とても興味深く思います。そういう意味でも新入生入部というのは、部内に新しい風を運んでくれるのではないのでしょうか。

私たちの大学では、どちらかというとその人自身の学んできた引き方を尊重する形をとっています。とはいえ、指導する立場としては、学校として形を統一するのか、その人の引き方を尊重するのかは悩みどころではあると思います。所作云々ということだけではありません。翻って高校弓道を経験した新入生にとっては、大学弓道の試合の形式や雰囲気の違いに戸惑いを感じることもあるでしょう。

ともあれ、5月末の関西学生弓道選手権大会や各大学とさせていただく練習試合を控えた今、新入生の入部を機に気を引き締めなおして、大学弓道をさらに盛り上げていければと思います。(岡田 香織)